

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

エーツ!  
負担が増えるの!?



「保険証1枚で安心して受けられる日本の医療制度を守ろう」  
**受診のたびに100～500円の上乗せなど、  
さらなる負担増計画の中止を求める請願**

請願の趣旨

茨城県保険医協会が病・医院に対して行った調査では、3割の病・医院が患者さんの経済的な理由による治療の中断を経験していました。また、4割の病・医院が医療費負担を理由に治療や検査を断られたことがあると答えています。

「糖尿病や高血圧でも中断」「必要な検査を断る」「薬がなくなっているのに受診しない」「入れ歯やかぶせ物の処置をためらう」……苦悩する患者さんの姿が見られます。

経済財政諮問会議が「経済・財政アクションプログラム」で示した**患者の負担増計画(2016年から順次計画、実施予定)**は、多くの国民から医療を遠ざけ、とりわけ治療が長期にわたる高齢者の生活を圧迫します。

以下の患者負担増計画の中止を求めます。

請願事項

- 一、受診するたびに100～500円を窓口負担に上乗せしないこと
- 一、75歳以上の窓口負担を2倍にしないこと
- 一、70歳以上の患者負担限度額を引き上げないこと

氏名	住所

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

(取り扱い医療機関、団体)



一般社団法人 茨城県保険医協会